

児童発達支援事業所における自己評価結果(公

公表: 2022年 2月 28日

事業所名 Berry Language Academy

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		少人数のコマ制の実施	
	2	職員の配置数は適切である	○		現状は適切である	退職者があったため追加の配置を対応している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設内にスロープの設置等がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		施設内の消毒や運動と言語の活動スペースがある	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		積極的に行われている	感染症が終息次第、外部研修も実施する予定
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		積極的に行われている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		定期的に会議を行い改善点等を指導員間でも共有している	HPだけではなく、文書等での保護者への共有も行っていく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		送迎の際の保護者対応でヒアリングを行っている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修は敵的に行っている	感染症が終息次第、外部研修も実施する予定
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		月に一度の会議をスタッフ全員で行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		資料等が完備されている	より専門的な資料を増やしていく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		利用者個人に合わせた支援を保護者や地域と協力し行われている	学校や支援員との共有をより密に行っていく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		月に一度の会議	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に一度の会議	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に一度の会議	さらに工夫したイベントを実施する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		カンファレンスの時間が適切に確保され	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		提出書類作成とは別にスタッフ間での会議の時間がある	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		提出書類作成とは別にスタッフ間での会議の時間がある	すべてのスタッフが作成できるよう研修を行っていく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日にスタッフ間で確認しながら日報を作成している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		送迎時にモニタリングを実施	より詳細なモニタリングを実施できるよう資料等を用いる
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		すべてのスタッフが参画できるようにしている	さらに研修を徹底していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		定期的に外部とのコンタクトを図っている	感染症が終息次第、さらに密に情報共有ができるようにする
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現状は該当者がいないため、そのようなケースがあった場合に迅速に対応できるようにする
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現状は該当者がいないため、そのようなケースがあった場合に迅速に対応できるようにする
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		常に情報共有をするよう心掛けている	クラス変更や進学に向けての情報共有も視野にいれておく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		常に情報共有をするよう心掛けている	クラス変更や進学に向けての情報共有も視野にいれておく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		その都度連絡し助言を求めている	感染症が終息次第実際に現場に出向き研修を受ける
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		感染症が終息次第実際に現場に出向き交流も検討
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		感染症が終息次第実際に現場に出向き交流も検討
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際に共有する時間を設けている	すべての保護者とさらに情報共有ができるように心がける
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		母子支援に力を入れている	スタッフ間でもさらに共有を深めて支援を行っていく	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		規約等の説明をゆっくり丁寧に話している	さらにわかりやすい説明ができるように研修を行う	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		理解してもらえるまで何度も伝えていく	さらにわかりやすい説明ができるように研修を行う

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		母子支援に力を入れている	保護者との時間をさらに確保して深く話が聞けるようにする
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		感染症が終息次第実際に交流も検討
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		LINEグループを作成し、共有している	さらに様々なことが共有できるように徹底していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		LINEグループを作成し、共有している	カレンダーなども配信しているのでさらに様々な情報を共有していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きロッカーに保存している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言語の中にジェスチャーなども組み入れる	指導員のわかったことはその都度保護者に伝えていく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染症が終息次第行っていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		2か月に一回の避難訓練を実施	地震の想定だけでなく、火災や警報などの様々な状況を想定して行っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		2か月に一回の避難訓練を実施	地震の想定だけでなく、火災や警報などの様々な状況を想定して行っていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		緊急時書類の作成	左記の書類の中に、持病や服薬の記入欄がある
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		緊急時書類の作成	左記の書類の中に、持病や服薬の記入欄がある
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有されている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修の実施と資料	さらに様々な資料を増やしていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		しっかりと保護者に説明した上で記載している	さらにわかりやすく記載することを心がける

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

